SDGs未来都市
入間市

企業版ふるさと納税のご案内

埼玉県　入間市

令和６年１０月１日改正

ごあいさつ

～「来てよし、住んでよし、働いてよし」のまち、入間を目指して～

入間市では人口減少・地方創生への対応策として、
『若い世代に「住みたい、住んでみたい」と思われるまちであること』
『未来の主役である子どもたちが元気に育つまちであること』
を最重要課題と捉え、様々な事業に取り組んでいます。
また、本市に関わる全ての人にとって魅力のある「来てよし、住んでよし、働いてよし」のまち・入間の実現に向けて、文化や伝統を大切にしながらも、前例のないことにも果敢に挑戦していく所存です。

企業の皆さまにおかれましては、本市の地方創生に向けた取組にご理解いただき、企業版ふるさと納税制度による寄附につきまして、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

入間市長 杉島　理一郎

埼玉県入間市について

入間市は、埼玉県の西南部に位置し、東は所沢市、西は飯能市と東京都青梅市、南は東京都西多摩郡瑞穂町、北は狭山市にそれぞれ接しており、都心から40㎞圏にあります。
市内には狭山丘陵と加治丘陵の2つの丘陵があり、市域の約10分の1を占める茶畑とともに本市の豊かな緑を形成しています。
交通の面では、西武池袋線の入間市駅・武蔵藤沢駅・仏子駅・元加治駅と、JR八高線の金子駅があり、主要道路として一般国道16号をはじめとする国道4路線と県道9路線があるほか、圏央道入間ICが国道16号と接続していることにより、利便性の高い交通網が形成されています。
区画整理事業等による市街地整備が進むとともに、近年では郊外型大規模店舗の出店も進み、圏央道入間IC近くの大型アウトレットモールには多くの来場者が訪れています。

池袋からは特急ラビューで最短32分！

・面積　４４．６９㎢
・人口　１４４，２６２人（令和6年4月１日現在）

主な取り組み

狭山茶の主産地

静岡茶・宇治茶と並ぶ日本三大茶である狭山茶。
「色は静岡、香りは宇治よ、味は狭山でとどめさす」とうたわれ、深みのある味わいが特徴です。
入間市は狭山茶の最大の主産地です。
入間市では、茶業や茶文化の振興を図り、狭山茶のある暮らしを後世へつないでいくことを目的として「おいしい狭山茶大好き条例」を制定するなど、狭山茶の振興に取り組んでいます。

ＳＤＧｓ未来都市に選定

入間市では、ＳＤＧｓの目標年度である2030年にあるべき入間市の姿を「健康と幸せを実感できるWell-being Cityいるま」として、経済・社会・環境の三側面から、地域資源を生かした持続可能なまちづくりの取り組みを進める提案を国に行い、内閣府より2022年度ＳＤＧｓ未来都市に選定されました。
市民のみなさん、企業、団体等とのパートナーシップをもとに取り組みを進めています。

ヤングケアラー支援条例

近年、支援の必要性が叫ばれている「ヤングケアラー」。入間市では、ヤングケアラーが個人として尊重され、心身の健やかな成長および自立が図られるよう、2022年にヤングケアラーに特化した「入間市ヤングケアラー支援条例」を全国で初めて制定しました。
こどもの心に寄り添い、意見を尊重しながら必要な支援をしています。

積極的にロケーションサービスを実施

映画「ラストサマーウォーズ」

入間市出身の宮岡太郎監督による、小学生を主役とした青春映画「ラストサマーウォーズ」が令和４年夏に全国公開されました。撮影・制作にあたっては、入間市ロケーションサービスによるロケ地の相談・案内など、入間市が全面的にサポートしたほか、多くの市民ボランティアの方にも参加していただきました。

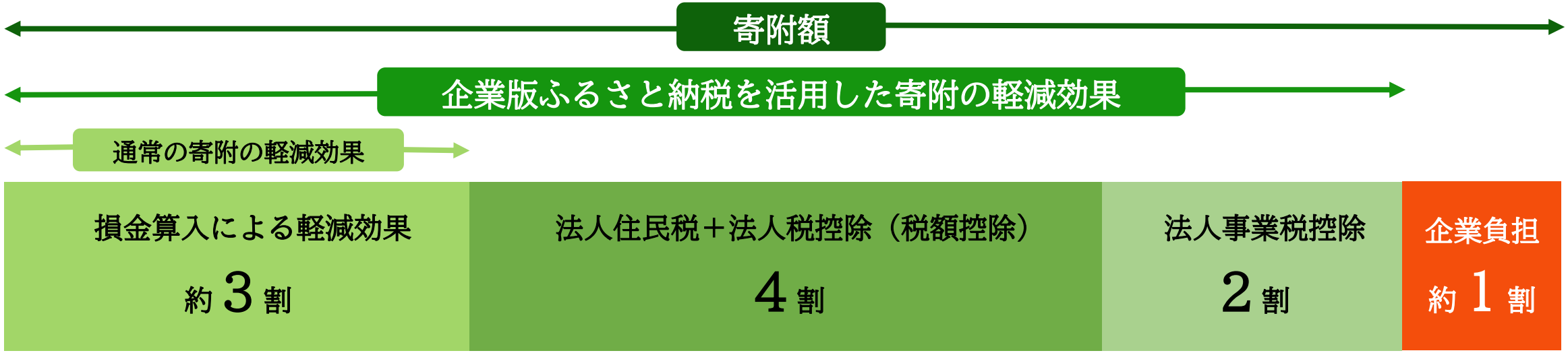
こうした取り組みが評価され、“ロケ地から日本を元気に！”をテーマに、国内の映画・ドラマの舞台やロケ地を応援する「第13回ロケーションジャパン大賞」に「ラストサマーウォーズ×入間市」がノミネートされました。

旧石川組製糸西洋館

ラストサマーウォーズの撮影でも使用されたほか、ドラマ「ライアーゲーム」、映画「帝一の国」など、様々な作品の撮影に活用されています。

企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）とは？

国が認定した「地方公共団体の地方創生プロジェクト」に対して企業が寄附を行った場合に、その企業の法人関係税から寄附額の６割を税額控除する仕組みです。損金算入による通常の寄附の軽減効果（寄附額の約３割）を含め、**寄附額の最大９割の軽減効果**があります。



例）1,000万円寄附いただいた場合、最大約900万円の法人関係税が軽減され、実質的な企業負担は約100万円となります。

留意事項	・入間市外に本社がある企業が対象です。 ・1回あたり10万円以上の寄附が対象です。 ・寄附をすることの代償として経済的な利益を供与することは禁止されています。

企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）とは？

SDGs未来都市 入間市

企業版ふるさと納税

地方公共団体が行う地方創生の取組に対する企業の寄附について法人関係税を税額控除

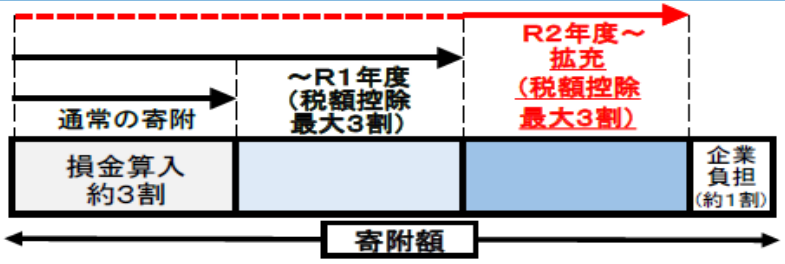
制度のポイント

○ 企業が寄附しやすいよう、
- **損金算入による軽減効果に税額控除による軽減効果を上乗せ**
- **寄附額の下限は10万円**と低めに設定

○ 寄附企業への**経済的な見返りは禁止**

○ **寄附額は事業費の範囲内**とすることが必要

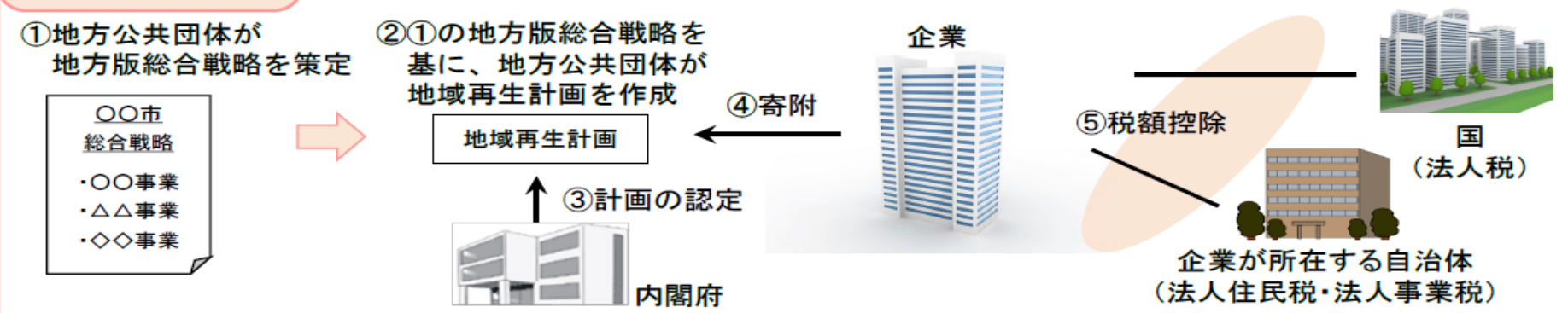
※ 不交付団体である東京都、不交付団体で三大都市圏の既成市街地等に所在する市区町村は対象外。
※ 本社が所在する地方公共団体への寄附は対象外。



例）1,000万円寄附すると、**最大約900万円**の法人関係税が軽減。

①法人住民税	寄附額の４割を税額控除。（法人住民税法人税割額の20%が上限）
②法人税	法人住民税で４割に達しない場合、その残額を税額控除。ただし、寄附額の１割を限度。（法人税額の５%が上限）
③法人事業税	寄附額の２割を税額控除。（法人事業税額の20%が上限）

活用の流れ



◆ 地域再生計画の認定を受けた地方公共団体の数：46道府県1,487市町村（令和4年11月11日時点）

（出典）企業版ふるさと納税ポータルサイト「制度概要」より

寄附手続きの流れ

貴社

入間市

1. 寄附対象事業の決定 → 寄附金額の決定 → 「寄附申出書」のご提出

2. 納付のご案内（納付書）の送付

3. 貴社から入間市への寄附

4. 「受領証」の発行

5. 受領証を添えて、所轄の税務署へ
ご申告をお願いいたします。

所轄
税務署

寄附対象事業について（入間市の地方創生の取り組み）

入間市まち・ひと・しごと創生推進計画（地域再生計画）

〈地域再生計画において本市が目指すもの〉

⇒減少傾向にある若者や子育て世代に選択してもらうことが最重要課題。

①若い世代に「住みたい、住んでみたい」と思われるまちであること。

②未来の主役である子どもたちが元気に育つまちであること。

※入間市まち・ひと・しごと創生推進計画（地域再生計画）に記載された事業が寄附対象事業となります。

現　状	基本的視点	本市の基本目標
・出生数の減少 ・若者世代の転出超過 ・人口構成の変化 ・地域経済活動の停滞	・若い世代に選択されるまちづくりの推進 ・若い世代の希望を実現できるまちづくりの推進 ・地域の資源を活かしたまちづくりの推進	基本目標１： 働きやすいまちをつくる 基本目標２： ずっと住みたいまちをつくる 基本目標３： 子どもの育ちを支える 基本目標４： まちの魅力を活かす

寄附対象事業について（入間市の地方創生の取り組み）

入間市まち・ひと・しごと創生推進計画（地域再生計画）

1．**働きやすいまち**をつくる事業

【具体的な事業】
- 新たな企業の誘致・既存企業の経営支援・雇用創出の促進
- テレワークの推進・就労機会の創出と就労支援・創業支援
- 継続した経営支援・狭山茶の振興・地産地消の推進
- 商店街活性化の推進・ものづくりの支援およびＰＲ等

2．**ずっと住みたいまち**をつくる事業

【具体的な事業】
- 若者の転出抑制の推進・若者の移住支援の推進・移住情報の提供
- 子育て世代の転入支援の推進・住みやすさが実感できるまちのPR
- 鉄道沿線からの移住促進・家族の憩いの場の創出
- 体験の場･学習の場の創出　等

寄附対象事業について（入間市の地方創生の取り組み）

入間市まち・ひと・しごと創生推進計画（地域再生計画）

3．子どもの育ちを支える事業

【具体的な事業】
- 婚活支援・婚活イベントの支援・不妊治療の支援
- 妊娠期からの切れ目のない子育て支援・学校教育の充実
- 特色ある教育の推進・放課後教育環境の整備
- 子どもの居場所づくり・コミュニティ・スクール等

4．まちの魅力を活かす事業

【具体的な事業】
- 通勤･通学の利便性向上・防災･減災の推進・防犯体制の整備
- 交通環境の整備・安全･安心なライフラインの構築
- 地域コミュニティの充実・スポーツ･レクリエーション振興
- 脱炭素な生活スタイルの促進・狭山茶の振興
- シティプロモーションの充実・豊かな自然環境の保全と活用等

入間市企業版ふるさと納税対象事業の一例（１）

【加治丘陵の保全活用】

・入間市の魅力であり、貴重な自然環境である里山の「加治丘陵」を保全します。
・安心安全に散策できる場所を整備するなど、緑に親しむ憩いの場として活用します。

【脱炭素型ライフスタイル促進アプリ】

・人も地球も健康に！
・移動の脱炭素化の促進と健康増進に寄与するアプリSPOBYを導入しました。
・エコな移動や廃食油回収でポイントを貯めて地域のお店で特典ゲット！

【自校給食設備整備事業】

・市内の全小学校（16校）は、学校敷地内に調理場を持つ単独調理場（自校給食校）です。
・既製品や顆粒出汁に頼らない、手作りを基本としており、調理したての美味しい給食を児童に提供し、子どもを栄養面からサポートします。

【狭山茶ブランド振興プロジェクト】

・「おいしい狭山茶大好き条例」に基づき、狭山茶の主産地であることを発信し、さらなる狭山茶の振興を図り、市内産狭山茶の魅力を発信するため狭山茶店舗を活性化する事業やＴ－１グランプリ等のイベントを実施しています。

上記の他にも様々な事業が対象事業となります。詳細はお問い合わせください。

入間市企業版ふるさと納税対象事業の一例（２）

【スポーツによるまちづくり事業】

・「入間市スポーツ振興まちづくり条例」に基づいてスポーツを活用したまちの活性化を図ります。
・駅伝競走大会やわんぱく相撲を実施します。
・新たにアーバンスポーツ大会やサイクルスポーツのイベント等を開催します。

【妊娠・出産・子育てをサポート】（母子健康教育事業）

・妊娠・出産・子育てに伴うさまざまな相談を、市が一体となりサポートします。
・「新生児訪問」「こんにちは赤ちゃん訪問」により、すべてのご家庭を訪問しています。

【茶畑の景観活用（茶畑テラス）】

・狭山茶の体験型観光スポット
・事前予約制の貸切テラスでのんびりピクニック
・一面の茶畑の中で、こだわりの狭山茶を堪能
・観光振興、狭山茶振興、地域経済活性化へ
・SNSによる情報発信

【電気自動車の導入（カーシェアリング）】

・公用車をＥＶに入れ替えゼロカーボンドライブを推進！土日はカーシェアリングで誰でも利用可能
・市役所に続き、健康福祉センターにも導入しました！
・ＳＤＧｓ未来都市計画に基づく取り組みのひとつ

上記の他にも様々な事業が対象事業となります。詳細はお問い合わせください。

企業側のメリットについて

１．税制優遇措置

寄附金額の最大９割、法人関係税が軽減されます。

２．社会貢献

ＳＤＧｓ未来都市に選定されている入間市への寄附は、

企業のＣＳＲ活動の一環としてイメージアップに貢献します。

３．地方公共団体とのパートナーシップの構築

長期的な関係構築を見据え、企業連携協定を締結することも可能です。

４．新規事業の展開

入間市を舞台に、新しい事業開発をご検討ください。

５．ＰＲ効果（入間市民 約１４４，０００人にリーチします）

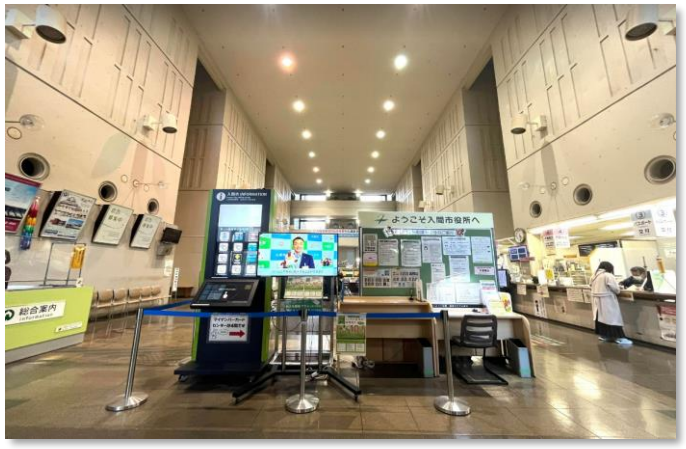
市長による感謝状贈呈式の開催、市報や市公式HP・SNS等で貴社を紹介！

14

ＰＲ効果：約144,000人へのリーチ（例）

目録贈呈式の開催

市公式ＨＰへの掲載



市役所入口での掲示とモニター表示

広報紙への掲載

PRTIMES

プレスリリースや各種SNS（Facebook・Instagram等）での発信

※上記は一例であり、すべての媒体に対応をお約束するものではありません。

お問い合わせ

寄附対象事業のご相談など、下記問合わせ先までお気軽にお問い合わせください。

問合せ先

入間市役所企画部企画課　ふるさと応援担当

Address：〒358-8511　埼玉県入間市豊岡1丁目16番１号
TEL　　：04-2964-1111（内線3134・3135）
E-Mail　：ir113000@city.iruma.lg.jp